

# 東京庄原格致会会報

第27号

2019年9月

発行人・積山弘佳  
編集人・武広巖  
印刷所・(株) クレスコアーク  
ゴエユニケーションズ

## 二十九度総会・懇親会の報告 台風21号、大雨の中よ くお集まりいただきま した！

昨年10月22日(日)、台風21号前触れの大雨に見舞われるという悪いコンディションのなか、東京庄原格致会平成29年度の総会・懇親会が、会員38人の参加者を得て、四ツ谷駅前の主婦会館「プラザエフ」で開催されました。来賓として庄原から、母校の杉野誠教頭先生、同窓会本部の片山孝昭会長に、庄原実業東京支部 新井教亨副支部長、世羅高校東京校友会 吉宮孝治会長をお迎えしました。参加会員のうち、女性の方は6人。昨年が続いて同期の参加者が増えました(38年卒・48年卒 6人、35年卒 4人)。

物故者には、東京格致会(現東京庄原格致会の前身)の創設に

尽力された金森さん、囲碁同好会の立上げにかかわられた近藤さん、そして現役幹事長として会の運営に努力されて来られた寺川さんと東京庄原格致会にとって、大切な人が亡くなりました。ご冥福をお祈り致します。

### 【総会】

参加者が揃うのを待って定刻を少し遅れて八谷英樹副会長(35年卒)の司会で総会の開会となりました。積山会長の挨拶に次いで来賓者からご挨拶をいただきました。

母校の杉野教頭先生からは120周年記念行事への協力についての謝辞が述べられ、次いで野球部・写真



挨拶する積山会長



司会の八谷副会長

部・文芸部の後輩の活躍の状況報告、そして、学部のコース制が導入されることになったのを受けて、31年度から医療教育コースが母校に新設されるのお話がありました。

同窓会 片山会長からは、創立百二十周年行事への御礼の言葉に添えて昨年2月に記念行事実行委員会を立ち上げてから、記念事業として校庭中庭の整備事業、教育振興基金の継続実施を決めて寄付金集めに奔走された苦労話を聞くことができました。目標としていた千五百万円は達成できたとのことでした。



遠藤監事会計監査報告



武広事務局長決算報告



片山同窓会会長来賓祝辞



杉野教頭先生来賓祝辞



出席された皆さん

た。まず、28年度の事業報告・決算報告が武広 巖事務局長（48年卒）から行われた後、遠藤靖夫監事（37年卒）からの監査報告を受けて満場一致で承認されました。



合田顧問



司会の助政さん

【懇親会】

小休憩の後、助政千尋幹事（40年卒）のユーモアに富んだ大きな声での司会で待望の懇親会の幕が上がりました。

冒頭、合田良三顧問（33年卒）の次のようなスピーチの後、乾杯の発声で杯を挙げました。

「皆さん、幸せですかー？幸せの最低条件は帰る家があることです。例外的に帰らなくても幸せを感じる人もいますが！

人は生きていくという事は誰かに借りを作ること。生きてゆくという事はその借りを返していくことです。

そのためには健康。健康寿命を

保たなければならぬ。それには教育と教養が必要です。ここでいう

教育とは ↓ 今日、行くところが あること。

教養とは ↓ 今日、用があること。

このことを日常生活に取り入れると健康寿命が永く保てます。

卒業年次・期別に配されたテーブルに座り、空腹を満たし、アルコールも入る中で、卒業以来の再会を喜ぶ人、同期の消息、趣味の話等に話が盛り上がりました。途中、来賓の庄原実業高校 東京支部の新井教亨副支部長、世羅高校 東京校友会の吉宮孝治会長から祝辞をいただきました。

初参加・最年少出席者の熊田和佳さん（平成5年卒）が壇上へ呼び上げられて紹介、スピーチを皮切りに次々と続く人があり、会場が盛り上がりました。

庄原市無形文化財の「敦盛さん」を保存会の大岩征子さん（平成37年卒・旧姓 花好）のリードで歌い上げ、校歌・応援会の合唱でファイナーレに向かいました。

定刻3時30分中締めになり、信清 治さん（31年卒）の「来年も元気に再会しよう」との挨拶に添えて三本締めで終幕となりました。

事務局長が郷土から取り寄せたお土産を受取って解散となり、三々五々、主婦会館を後にして大雨の中を帰途に付きました。

大雨の中、出席していただいた皆さん、本当にありがとうございました。今年も10月21日（日）に仲間を誘い合っご参加ください。再会を楽しみにしております。



中締めの信清さん



初参加の熊田さん



来賓の新井さん



来賓の皆さん



大岩さん



来賓の吉宮さん

出席者名簿

杉野 誠	庄原格致高校教頭
片山孝昭	庄原格致高校同窓会長
新井教亨	庄原実業高校東京支部副支部長
吉宮孝治	世羅高校東京校友会会長
室伏孝一	昭和二五卒 (山内西)
兼利卓蔵	昭和二八年卒 (西城)
信清 治	昭和三一年卒 (庄原)
飛谷安宣	昭和三二年卒 (山内東)
中田唯之	同 (春田)
生田八洲紘	昭和三三年卒 (濁川)
合田良三	同 (川北)
森沢 進	同 (川北)
香川邦生	昭和三四四年卒 (川北)
熊原 清	同 (山内)
高田 裕	同 (庄原本町)
田淵統洋	昭和三五五年卒 (庄原本町)
横山弘佳	同 (口和)
光島勝馬	同 (比和)
八谷英樹	同 (比和)
遠藤靖夫	昭和三七年卒 (高)
大岩征子(花好)	同 (庄原本町)
新山千樫	同 (西城)
池田 強	昭和三八八年卒 (庄原)
川野正江(明石)	同 (西城)
塚原通彦	同 (総橋)
岡崎千鶴子(伊藤)	同 (川北)
平川智子(向田)	同 (高野)
渡邊千草(岡田)	同 (川西)
渡邊俊昭	同 (同伴者)
中田 毅	昭和三九年卒 (春田)
助政千尋	昭和四〇年卒 (川手)
田中文男	同 (板橋)
新宅一二三	昭和四二年卒 (三原)
福場泰蔵	昭和四五年卒 (庄原)
奥重秀彦	昭和四七年卒 (口和)
谷本まさ子(久光)	昭和四八年卒 (比和)
武広 巖	同 (宮内)
西川 進	同 (木戸)
畑原裕文	同 (比和)
原本政至	同 (口和)
平川公成	同 (庄原本町)
熊田和佳	平成五年卒 (三次)

氏名の中の( )は旧姓



# 三十年度 総会・懇親会のご案内

十月二十一日(日)

「主婦会館プラザエフ」にて開催

今年度の総会・懇親会を例年通り、十月二十一日(日)に開催いたします。母校の校長先生並びに本部同窓会会長にも案内状を差し上げております。備後弁で楽しい会になりますよう皆様のご参加をお待ちしております。

一、日時 平成三十年十月二十一日(日)  
(受付は十一時三十分から)

総会 十二時から三十分程度

懇親会 約二時間(お開きは一五時三十分を予定しております)

二、会場 主婦会館プラザエフ  
(八階 スイセンの間)

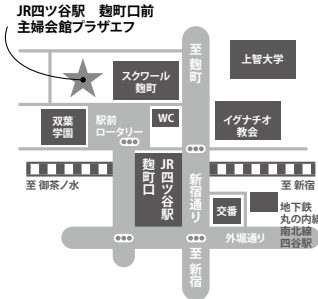
所在地 東京都千代田区六番町十五番地

電話 〇三・三二六五・八一二

三、会費 八千円  
(但し女性並びにご同伴の方は六千円)

※年会費(二千元)は、当日受付でも承ります。

## 総会・会場のご案内



### 主婦会館プラザエフ

東京都千代田区六番町十五番地  
TEL. 03-3265-8111

- ・JR「四ツ谷駅」麹町口 徒歩1分
- ・東京メトロ丸の内線「四ツ谷駅」1番出口(徒歩3分)
- ・東京メトロ南北線「四ツ谷駅」3番出口(徒歩3分)

## 「」挨拶



東京庄原格致会会長  
積山 弘佳  
(昭和三十五年卒)

関東地区に在住の同窓生の皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのことと拝察致します。

また平素より東京庄原格致会に対し、ご支援とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年10月22日(日曜日)四ツ谷駅前の子婦会館「プラザエフ」におきまして総会・懇親会を開催致しました。当日は38名の会員の皆様と母校から杉野誠教頭先生、本校同窓会 片山孝昭会長、世羅高校東京交友会 吉宮孝治会長、庄原実業高校 東京支部新井教亨副支部長、にはご多忙の中ご臨席いただき、盛大に開催することができました。総会ではすべての議案につきまして原案の通り可決をしていただきました。

また、役員改選に当たり会のあり方、母校との関係を考慮しながら新役員人事案を作成し、提案させて頂き全会一致で承認をして戴きました、退任された役員の方々

には会の発展のためこれまでご尽力を賜わり誠に有り難うございました、新役員一同気持ちを新たに任務を遂行していく所存であります、役員、幹事、顧問をはじめ会員の皆様のご支援とご指導を頂きながら、さらなる本会の発展の為に職責をまっとうして参りたいと思っております。今後ともご指導賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

昨年は「庄原格致高等学校創立百二十周年記念式典」が盛大に催されました。

記念事業の大きな目的である教育振興支援及び環境整備の目的で募金の協力をお願いし、多くの同窓生や関係者の皆様からのご協力により計画以上の募金が集まり当初の目的が達成されました、東京庄原格致会の会員の皆様にもご協力を賜り有難う御座いました。

私も記念式典に参加させて頂くため会場である学校に伺いました。現在の校舎に行くのは初めてで学校に到着するなり待機されていた教職員の方や学生の皆さんが駆け寄って来られ心地よい出迎えを受け、体育館の会場の席までご案内をして戴き心温かいおもてなしに感動致しました。

記念式典に出席し各関係者の方からの祝辞、挨拶を拝聴する中、百二十年の歴史を実感しながら、自分も三年間在学し楽しかった事、苦しかった事、級友達や勉学、行事、通学の思い出が、頭の中をよぎりました、

引き続き記念講演では、東京庄原格致会副会長福場美知留さんの「頑張った分だけ幸せになれる」でハンドトリートメント「手当て」「手のぬくもり」「ふれあい」で至福の時が持てるお話を拝聴し参加者の皆様の大きな拍手で終わりました。その後記念事業のひとつである渡り廊下を歩きながら整備された美しい中庭を見せて頂きました。これから後輩達も素晴らしい環境の中、三年間の学生生活を送れる事を思いながら、学びの舎に感動致しました。

場所を庄原グランドホテルに移しての祝賀会では、各方からのご挨拶・吟詠・校歌斉唱・木山庄原市長の乾杯で祝宴が始まり、来賓の方々や、懐かしい先輩、後輩、級友達と語りながら楽しい一時を送らせて戴きました。関係者の方々には、いろいろと最高の舞台を作って頂きました。

東京庄原格致会は、関東一円に

在住されている庄原格致高校の卒業生、在籍された方々で組織され、会員相互の親睦、母校の発展に貢献する事を主に設立されました。

会員名簿の作成、会報の発行、年2回のゴルフ懇親会、近場の旅行会、囲碁クラブを開催し会員の皆様の懇親を図っております、趣味を生かし同郷の人達に出会い故郷の話も尽きません。

総会、懇親会には多数の同窓生の皆様の参加をお待ちしております、一人でも多くの皆様のご支援ご協力を今後とも宜しくお願い申し上げます。

## 「格致維新、知行同一」



広島県立  
庄原格致高等学校校長  
今岡 護

校長として5年目を迎えました。関東同窓会の皆様方には、日頃より本校の教育活動に対しまし

てご支援とご協力を頂いておりますことに心より感謝し、厚くお礼を申し上げます。また、同窓生の皆様は、全国の様々な分野で活躍されており、在校生にとりましても励みとなっております。

本校は、昨年度創立百二十周年を迎え、記念式典、記念講演、更には祝賀会を盛大に開催し、これまでの歴史を顧みる中で、改めて庄原格致高校の歴史と伝統を再確認し、本校が地域や県北に果たす役割の大きさを実感したところで

今年度は、創立百二十一年目として、新たな格致高校の歴史が始まる年となります。

本校のミッションにも示しているように、庄原市内だけでなく県北の人材育成校として、また、校訓に「格致致知」を掲げ、人間形成を目指した教育活動を展開していきます。これは情報が氾濫している現代において、様々な情報を鵜呑みにすることなく、自分自身で確かめ判断し、取捨選択できる力を育成するということでもあります。そして、これらの能力の基となる基礎・基本学力の定着を通して知識力の向上を図り、生徒自らが自分自身の夢や目標に向かっ

て努力し挑戦し続ける教育を実践していきます。

今年度の本校の教育指針は、「格致維新、知行同一」です。「格致維新」とは、百二十一年目を迎える今年度、変化による躍進を目指すことを意味しています。生徒一人ひとりが昨年度までとは異なる新たな取組を始めることにより、格致高校全体としての大きな変化が生まれ、躍進につながることを期待しています。また、平成31年度開設の「医療・教職コース」は、準備や教育内容の改変も含めて今年度から動き始めることとなります。

「知行同一」とは、学んで知ったことは、実践することにより初めて身に付き実力となります。知識のみを詰め込むのではなく、体験や行動を通して生きた学力を育む教育を実践していきます。その意味において、あえて「知行合一」ではなく、「知行同一」としています。

さて、広島県は、「学びの変革アクションプラン」という方針の基に、全国的にも先進的で画期的な授業づくりに取り組んでいます。その中で本校は、実に4年間に亘る国立教育政策研究所の論理的思考力育成の指定事業を終え、全国

に先駆けて自分の考えを自分自身の言葉で他者に伝える授業に取り組んできました。さらに、広島県内の高等学校として初めて、県立広島大学と協定を結び、1年生全員の体験入学を実施するなど、庄原キャンパスと様々な教育活動の連携を行っております。また、庄原赤十字病院への高度医療見学や医療系進学希望者の体験実習などの繋がりに定着しています。これらの学力向上に関する取組だけでなく、地元である庄原市に格致生として何ができるのか、という観点から、よいとこ祭実行委員会への参加や新たな地域行事の開催等々、様々な地域連携にも精力的に取り組んでいます。

本校は、学力向上のみを追求するのではなく、習得した知識を知性として活用できることを目指し、豊かな心を育むことにより共感的な人間関係を育成する教育、周囲の人と協働して困難な課題を克服していく力の育成にも尽力しています。教職員一同、全力で生徒の活動を支援し指導してまいりますので、同窓会会員の皆様には、今後とも本校に対するご支援とご協力をお願いいたします。





茶道部によるお茶席

平成30年5月19日(土)・20日(日)に開催した、  
格致祭文化の部の様子



1年生による合唱



邦楽部による琴の演奏



「ご挨拶」

同窓会会長  
片山 孝昭  
(昭和三十三年卒)

【略歴】

昭和三十三年卒。庄原中  
PTA会長。六期二十三  
年間庄原市議会議員。議  
長、副議長、各常任委員  
会委員長。  
庄原格致高等学校評議員。  
庄原格致高等学校関係評  
価委員。



3年生による模擬店と来校者の様子



2・3年生による創作劇

東京庄原格致会の皆様には、ご  
健勝にて、お過ごしのことと拝察致  
します。

昨年十一月四日の創立百二十周  
年記念事業につきましては、多大  
なるご支援とご協力をいただきあ  
りがとうございました。おかげを  
持ちまして、設定していただきました目  
標を超えて達成することができま  
した。

記念式典は約六百五十名の出席  
のもと盛大に開催されました。

当日の挨拶文の要旨をお送りし  
ますので、よろしくお願い致しま  
す。

『本日、ここに庄原格致高等学  
校創立百二十周年記念式典を開催  
致しましたところ、広島県教育委  
員会より、諸藤孝則教育部長のご  
出席をいただきありがとうございます  
ました。』

そして、公私ともにご多忙の中、  
広島県議会議員 小林秀矩様、庄  
原市長 木山耕三様をはじめ、多  
くのご来賓の方々、遠方より東京  
庄原格致会、近畿庄原格致会、広  
島庄原格致会の会長様ほか会員の  
方々、そして多くの同窓会の皆様  
のご臨席のもと、学校も先生、生  
徒全員参加され盛大に記念式典を

開催することができました。

これも、本校に対しましてのご  
理解とご支援の賜物であります。  
衷心より感謝とお礼を申し上げる  
次第であります。

私達の母校、庄原格致高等学校  
は明治三十年十一月一日、校祖  
小田源吉先生が、「格致致知」の  
精神を教育の理念として掲げら  
れ、私塾格致学院を創立されたも  
のであります。

爾来、百二十年、校名の変更も  
含め幾多の変遷を経て、現在の庄  
原格致高等学校へ引き継がれてき  
たのであります。

平成二十八年二月十日、同窓会、  
学校、PTAの三者により百二十  
周年記念事業実行委員会を設立  
し、記念事業の内容について協議  
を重ねてまいりました。百二十周  
年とは還暦が二回巡ってくる大き  
な節目の年に当たるといふ事であ  
ります。

近年百二十周年事業に取り組まれ  
た三次市日彰館高等学校の事例等  
を参考にしながら協議を重ねた結  
果、母校の教育振興支援及び環境  
整備、同窓会運営基金等の事業概  
要を決定致しました。これらの達  
成のためには資金の確保が必要で  
あります。同窓会役員全員による

募金委員会を設置し、同窓会員には会報で詳細に報告し、記念事業の趣意書を同封して協力をお願いしたところであります。

旧庄原市では、各地区で募金チームを編成し、会員の方々への訪問、市内企業への訪問で、多額のご協力をいただきました。

そして、東京庄原格致会、近畿庄原格致会、広島庄原格致会からも格別のご協力をいただきました。又市外の多くの同窓会の方々より多くのご協力がありました。おかげを持ちまして当初の目標額を超える募金額を達成することができました。

心からお礼申し上げますとともに、平素より母校にお寄せいただきありがとうございますご支援とご協力に感謝するものであります。

また、本日の記念講演には、本校の昭和四十五年卒業で、現在東京庄原格致会副会長の福場美智留様を招聘できましたことは、百二十周年の歴史を飾るこの上ない慶びであります。

講演は素晴らしい内容で大変好評でありました。終わりにあたり、本日、百二十周年を無事



に迎えることができましたことに心より感謝とお礼を申し上げますとともに本校の更なる発展を祈念し会員の皆様のご健勝を祈念申し上げます。ご挨拶と致します。

東京庄原格致会の発展と会員の皆様のご健勝を祈念申し上げます。ご挨拶と致します。



## 勝光山



合田 良三  
(昭和三十三年卒)

私は帰郷の際に「かんぼの郷庄原」に投宿することが多いのですが、そのたびに実家近くにある勝光山を懐かしく思い出しています。

庄原格致高校の応援歌「勝光山の」（勝光山の青嵐西城川のよき流れ：）で親しみのある勝光山は備後庄原駅から北へ比和・高野方

向に12キロ県道をたどると我が古里の川北地区に標高947・4メートルの勇志を見せます。

この地に1917年(大正6年)に勝光山窯業(株)が設立され種々の「ろう石」の採掘が始められました。

その後、鉱山部門を分離して勝光山クレー合資会社を設立(昭和2年)し、1943年(昭和18年)社名を合資会社勝光山鉱業所に変更、1953年(昭和28年)に傍系2社を合併して現在の(株)勝光山鉱業所に変更されております。

「ろう石」で石筆が考案されて小中学校で使用されるようになり石筆製造は1955年(昭和30年)頃には年間50万本になったとのことです。この石筆は「ろう石」のうちでも最上品質のものを原料としたので日増しに増える注文に応じるため相当大量の原料を確保する必要があり地元は大いに活気づいたとのことです。

1955年のろう石の採掘量は年間5千トンでしたが1960年(昭和35年)に坑内掘りより露天掘りに移行することで増産が可能となり1974年(昭和49年)には採掘量も35万トンに達しました。

石筆用の最上級品質以外の「ろ

う石」は川北地区6ヶ所のクレール工場(ろう石製粉工場)でクレールとして主に王子製紙(株)などにアート紙用クレール(ろう石を粉碎したもの)として販売されました。

創業以来採掘場からクレール工場や備後庄原駅そして得意先までの運搬が問題になっておりましたが増産に伴い(株)勝光山運輸が設立されクレール等々の運搬一式を引き受け合理化され、同時に県道秋国道路(秋国一庄原)が整備されてトラックの往来が頻繁になりました。

大阪方面への出荷は鉄道輸送に切り替えることになり、備後庄原駅は勝光山専用の貨物ホームの増設整備がなされました。

鉱山業、運搬業の発展により地域の雇用が拡大し、又、税制の面でも庄原に多大な貢献がなされた。

ふる里の誇れる産業・会社も残念ながら時代の流れの波にもまれて今は縮小してきており、往時を知る自分としては寂しさを禁じ得ない昨今です。

東京庄原格致会のホームページを見られた、卒業生のお孫さんより、メールをいただきましたのでご紹介します。



ご担当者様

はじめまして。

昭和17年卒の三玉富之助の孫で原千恵子と申します。

先日、ふと祖父の名前を検索してみたところ、東京格致会の会報にたどり着きました。

祖父が亡くなりました際、本人の希望で小学校の時の作文から寮歌祭の写真まで、全てを棺に入れて送りました。

祖父に関する記憶で形として残っているものは、一緒にとった写真のみ。

会報に掲載された祖父の文章を読んで、改めて祖父の記憶がよみがえり、まるで祖父が横で話してくれているかのような気持ちになりました。

会報を画像ではなく、検索に引っかかるようにしていただきたいお陰で見つけることができました。

まずは御礼を申し上げたく、メールをお送りさせていただきました。ありがとうございます。

ありがとうございました。

(編集者注…三玉富之助さんは、1996年8月発行の東京格致会会報第4号に随筆「鮎の思い出」を寄稿されています。鮎のほろ苦い内臓をかみしめると、出征の前夜、お母様が、「鮎は山で生まれたて一度海に出ても、また必ず生まれた川に戻ってくる魚だから」と、苦勞して鮎を探して準備してくれたことを思い出すと語られています。)

# 母校だより

## 母校の現状

庄原格致高校 教頭

重森 佳裕

同窓会の会員の皆様には、日頃より本校教育活動、また在校生に対し多大なるご支援をいただきまして大変ありがとうございます。

昨年度は、本校にとって節目の年であり、11月4日(土)に創立百二十年記念式典を盛大に挙行す

ることができました。明治30年、小田源吉先生が庄原の若い世代に教育の場を提供することを目的として作られたこの庄原格致高校が、その理念を未だに失うことなく、県北の人材育成の中心的な役割を果たしていることを内外に改めて示すことのできた立派な式典となりました。

本校は、昨年までの4年間、国立教育政策研究所の論理的思考力育成事業の指定校を受けました。次期学習指導要領では、学力観が大きく広がります。知識中心の学力、つまり「何を知っているか」だけでなく、その知識を使って「何ができるか」「どのように問題解決を成し遂げるか」までを学力と考えて育成を行います。この学力観に沿って大学入試のあり方まで見直されることになりました。本校はこの指定校の事業を通して、生徒に育成したい学力として「論理的思考力(筋道を立て、根拠を持つてものごとを考察し、明確に自分の力言葉で伝えることができする力)」を育成する授業開発に取り組んできました。研究の成果については、本校のホームページに授業の映像などを載せておりますので、一度ご覧いただければと存

じます。

そのような取り組みを進める一方で、本校は次の時代に向けて新たな一歩を踏み出し始めています。来年度より新コース制「医療・教職コース」を導入することとなりました。従来の普通科3クラスのうち1クラスを「医療・教職コース」とし、医師・看護師をはじめとする医療従事者や小学校、中学校などの教員を目指す生徒を育成するコースを設立します。近年本校に入学してくる生徒の傾向として、将来は地元で地域に貢献したい、そのために医療や教育現場で働きたいという希望を持った者が多くおります。広島大学や県立広



島大学、庄原市教育委員会、庄原赤十字病院などのご協力もいただけることとなり、高校時代に医療や教職に必要とされる資質や能力を育てることを目的としたコースを創設することとなりました。現在、その開設に向けて、カリキュラムなどを学校をあげて考えているところです。

現在、本校では運動部10、文化部6、同好会2の合計18のクラブが日々精力的に活動を行っています。今年度は、5月の時点で延べ362名の生徒が入部しており、全校生徒のほぼ全員がいずれかのクラブに所属しています。その中でも全国大会の常連として活躍をしているのが、写真部です。昨年宮城県で開催された第41回全国高等学校総合文化祭では、優秀賞(全国第2位)となりました。今年度も長野県での第42回大会への出場も決まっております、さらなる活躍が期待されています。

このように、本校は120年培ってきた伝統と新しい理念とを兼ね備えた学校づくりに頑張っているところです。生徒が勉強にクラブ活動に自律的に取り組むことのできる学校を目指したいと考えています。

同窓生の皆様のさらなるご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 郷土だより

児玉 節

(昭和四十三年卒)

東京庄原格致会から藤原剛氏に「故郷便り」の原稿依頼があり、白羽の矢が私に当たった。私にとって故郷の思い出と言えば、取れもしないナバ狩り、西城川での魚釣り、戸郷川での蛍狩り、格致高校での夏、水も飲ませてもらえないラグビーの練習。

「世界一おいしい庄原の松茸」この匂い、この味、噛み応え、たまらない。焼いてよし、汁でよし。「この川の鮎は胡瓜の匂いがして、味も最高、頭から丸ごと食べられる」。はらわたのほろ苦さが油断ない。「川に乱舞する蛍」箒で面白いように取れた。酔っ払いのおっさんが、自転車で通りかかると、人さらいが来たと身を隠した初夏の夜。「ラグビー」夏、汗も

出なくなり額に塩が噴き出るラグビーの練習、雪積るグラウンドでは、長靴を履いてスクラムを組む。青春そのものだった。

松くい虫が、松を食い荒らし、多くの松は枯れ果てた。山の手入れをする人がいなくなり、腐葉土が溜まり、過栄養になり松茸は育たない。おまけに温暖化のおかげがどんどん収穫量は減っている。世界一の庄原の松茸がどんどん減っていく。

比和川はアユ釣りのメッカだった。釣り解禁の日には関西からの釣り客が大勢押し寄せ、長い竿を自由に操った。この川の鮎は味よし、匂いよし、姿よしで料亭に高く売れたそう。度重なる護岸工事や、水質悪化で藻生えやすくなり、おまけに冷水病がはやり、収穫量は激減している。

土地改良と護岸工事と農薬の使用は川ニナの生育を困難にし、この貝に寄生する蛍の幼虫の生息を困難にした。この川ではニナは一杯取れたよと、古老は言うが今は見る影もない。

薄暮の中、蛍を探しに出かけるが、ここにも居ないね、おや、ここに一匹いるぞ、あそこの向こう

JEWELER  
**miwa**

東京都中央区銀座6-7-2  
TEL. 03-3572-5011  
http://www.miwaj.com

体がよろこぶ!

「効く」漢方の正体

東京庄原格致会会員が上梓しました

薬剤師 恵木 弘著 (株)東洋薬行社長 定価 1050円(税込)

例えばカゼに効く葛根湯、10社以上から同名の商品が出ているが、品質は千差万別。当然、効果もまちまち。漢方生薬の品質を40年以上研究してきた筆者が、今まで誰も語らなかった、知らないと損をする「効く」薬の選び方を指南する。

お求めはアマゾン(www.amazon.co.jp)かお近くの書店まで



にもわずかに一匹、いつしか、螢  
がお宿に帰る時間になる。

格致高校のラグビー部は廃部に  
なった。伏見高校ラグビー部を招  
いてグラウンド開きをしたグラン  
ド、今はサッカークラブ部の練習場と  
なっている。

今、私の関心事。篠笛の音が出  
ないのに大困惑。松茸やホタルや  
ラグビーはいずれ、心ある人が何  
とかしてくれぬ(かもしれない)。  
私が頑張るべきは別にある。庄原  
こどもミュージカルは広島カープ  
の助けもあり、今年で19年目を迎  
える。こどもたちは毎年技量を向  
上させ素晴らしい舞台を創り上げ  
る。こどもたちの成長は素晴らし  
く、素人劇団だがどこに出しても  
恥ずかしくない。むしろ、庄原の  
地で育ったことが誇らしい。いつ  
までも続けていきたいものです。  
是非とも応援してください。さ  
て、篠笛は？庄原民謡「敦盛さん」  
を継続するため「敦盛さん」保存  
会が立ち上げた。今は太鼓をたた  
いています。しかし、敦盛といえ  
ば「笛」、これをマスターせねば  
と、藤原ともども、一から、つま  
りフー、フーから(難しくてなか  
なか音が出ないのです)頑張っ  
ています。自然相手ではないので何

とかなるだろうと、高を括ってい  
ます。庄原にパンダが来る頃には  
名演奏を聴かせたいものです。



### 【囲碁同好会】

### 月例会

### 二〇〇回を迎える

平成一二年一二月に発足した囲  
碁同好会は、毎月第二日曜日に例  
会を開き、メンバーの棋力向上・  
懇親を続けて一六年余の歴史を刻  
んできましたが、今年四月の例会  
で遂に二〇〇回の節目を迎えまし  
た。これを記念して有志による一  
泊二日懇親囲碁大会を企画し、最  
終的には四人の少人数にはなりま  
したが、熱海の温泉宿でお湯と囲  
碁三味の二日間を過ごしました  
(参加者は合田・八谷・岩竹・新山)。  
世間並みの高齢化現象の波の中  
で、引退・お別れが続く、現在の  
会員は一三人と少なくなり新会員  
大歓迎をしています。棋力は問い

ませんから興味を持たれた方は事  
務局までご連絡下さい。ご友人を  
誘い合つての加入も大歓迎です。

新宿の囲碁サロン「喜楽」で毎  
月第二日曜日にお昼前から夕方ま  
で、一室貸し切りで開いています  
から雰囲気を感じて来てくださ  
い。

(事務局) 090-11105-  
7272 八谷

### 上期カップ杯 新山さんが優勝



合田会長から優勝賞金を受ける新山さん

半年ごとに成績優秀者八人に  
よって争われる格致杯カップ争奪  
トーナメント戦・三〇年上期の戦  
いが、六月一〇日に行われました。



庄原さくら温泉  
**かんぽの郷 庄原**

〒727-0004 広島県庄原市新庄町281-1  
TEL. **0824-73-1800** FAX. **0824-73-0100**

<委託運営会社> 株式会社サンヒルズ庄原  
社長 **長谷部 泰士** (昭和48年卒)

どんな小さな工事・修理でも、お気軽にご相談ください

## ガーデン&エクステリア

0120-454295 お気軽にどうぞ



代表取締役 **西谷 光徳** (昭和46年卒)

諸官庁工事指定店 10年保証 お見積り無料 迅速対応  
八王子市子安町1-32-19

TEL: 0426 (45) 4295 FAX: 0426 (44) 8549  
URL : <http://www.h-soken.com/> E-mail : [nisitani@h-soken.com](mailto:nisitani@h-soken.com)

当日の欠席者等により繰上出場となった新山千樫さん(37年卒)、宮原幸徳さん(29年卒)が、共に敗者復活戦から立ち上がる粘りを発揮して決勝戦に臨み、熱戦の末に新山さんが見事栄冠に輝きました。

三位には野村栄さん(44年卒)が入賞。

## 【ゴルフ同好会】

### 第4回

## 「三会同合同ゴルフコンペ」の優勝に寄せて

亀井 勲三  
(昭和三十五年卒)

三会とは、・東京庄原格致会・東京馬洗会(日彰館出身者)・東京西城会(西城出身者)で作る「ゴルフ親睦会」のことです。

去る、4月24日(金)千葉県印西市にある「泉カントリー倶楽部」において参加者18名で、「新ペリア方式」でコンペが開催されました。天候は朝から曇ったり晴れたりでしたが、午後2時頃から

小雨になりました、皆さん備北出身者という気安さから、広島弁丸出しで「今ナー、バナナショットでー」、「ド・フックしてOBへ行つたでー」、「あんたー、スリーパットじゃろうがー」などと誠に賑やかで、何か田舎弁に安らぎを感じるひと時でした。私のゴルフはミスショットの連続で、「スライス、フック、ダフリにトップ、シャンクにスリーパット」後は野となれ山となれ、今日も駄目かと諦めていたところ、ショットの池超えて池に入った球がスクリュー回転してラフに出てきたのです。そこから2打目でグリーンONしてワンパット、なんとパーで上がったのです。この幸運が味方し、気持ちも乗ってきて、40+40=80のスコアでホールアウトすることが出来ました。

趣味のゴルフとは言え「ゴルフは人生の縮図だ!!」とよく言われます。「ミスは続いても夢を追いつつければ成功に繋がる」ことがあるのだと改めて感じました。今、吉田松陰先生の言葉を思い出しています。「夢無き者に理想なし、理想無き者に計画なし、計画無き者に実行なし、実行無き者に成功なし、故に、夢無き者に成功なし」

私はこの教えが好きです。ベスグロ優勝有難う御座いました。

## 【バス旅行】

## 東京・西城会との 合同バスハイク

旅行幹事 助政 千尋  
(昭和四十年卒)

昨年9月9日(土)快晴の中、旅行愛好の会員が、JR新宿駅西口から徒歩5分の工学院大学前に集合、会員10名と西城会員と友人など18名・東洋薬行から9名など39名で西武バスに乘車して午前8時丁度に出発した。

バスの座席表のとおり仲良く座席に着き、ビールや焼酎・日本酒・お茶など飲みながら新山東京西城会会長(37年卒)の挨拶、加藤・助政の両旅行幹事の挨拶がありました。

中央環状からアクアラインを通り、海ほたるPAにて休憩、JR木更津駅東口から生田さん(33年卒)と森沢さん(33年卒)が乗車、

創業39年



二階堂調剤薬局  
グループ

まへの薬局本店 二階堂調剤薬局  
まへの薬局北口店 大山調剤薬局  
まへの薬局南口店

代表取締役 薬剤師

石井 美佐子

(旧姓 瀧口) (昭和48年卒)

東京都板橋区南常盤台 1-30-21

TEL 03-3958-9955



合計41名の合同バス旅行でした。  
 午前11時過ぎに漁師料理「たてやま」でビールや日本酒などを飲みながら貝焼き食べ放題で、ほたて・牡蠣・海老・蛤などをバケツに入れて各自で網の上で焼きました。

量も種類も多くあり、焼けるのも早く、飲むより食べるほうで大満足でした。ステーキやアイスクリームを食べる人もおられた。

その後、バスで赤山地下壕跡に向かいました。

そこは、元館山海軍航空隊の事務所や病院施設などがあった場所で、全て手で掘ったものだといてびつくり、地下壕の長さは十六キロあり、全員黄色のヘルメットを付けて薄暗い壕の中に入りました。壁にはツルハシの痕があり、うす暗く涼しかった。

次に、崖の観音で有名な大福寺に行き、前庭で記念撮影のあと急な階段を登り観音堂の観音菩薩に参拝しました。天気も良く、東京湾が一望でき、見晴らしは最高：次に、富浦の「ザ・フィッシュ」で買い物してからバスに乗車。バスの中では「庄原いちばん動画CMコンテスト」のグランプリ作品を放映、ビンゴ大会・恵木先

生（30年卒）の漢方講座などがあり、有意義な一日でした。  
 また、来年会いましょう・・・と声を掛けあい、それぞれ帰路につきました。



魚師料理に舌鼓



館山市・大福寺（崖の観音）前にて

デザイン・印刷・ノベルティで企業イメージをUPさせる販促品をご提案いたします。



株式会社  
 クレスコアースコミュニケーションズ  
 〒101-0041  
 東京都千代田区神田須田町 2-2-5 CTNビル 7F  
 TEL.03-5207-5189  
 www.cresco-ars.co.jp



食彩館しょうばら

ゆめさくら



庄原のお土産は、  
 「庄原の食」を一堂に集めた特産店で！  
 お食事・仕出しは、お食事処 花ほぼろで！！

〒727-0004 広島県庄原市新庄町 291 - 1  
 TEL 0824-75-4411 FAX 0824-75-4422  
 〈指定管理者〉株式会社 グリーンウインズさとやま  
 代表取締役 藤光 有（昭和40年卒）

### 平成 29 年度東京庄原格致会会計報告

(自平成29年7月1日～至平成30年6月30日)

(単位：円)

#### 一般会計収支報告書

収入の部		支出の部	
前年度からの繰越金	108,500	総会経費	318,630
年会費	224,000	会報作成費・発送費	245,372
広告収入	70,000	母校・他校同窓会祝い金	80,000
総会会費	290,000	同好会助成費	30,000
お祝い・寄付	82,000	弔電(寺川氏)	3,434
母校同窓会からの寄付	80,000	HP更新料	34,372
受取利息(一般)	0	通信費等事務費	10,000
		後納郵便料	9,769
		振込手数料	9,160
		次期繰越金	113,763
合 計	854,500	合 計	854,500

#### 基金会計収支報告書

(単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度からの繰越金	84,115	次期繰越金	84,115
受取利息(基金)	0		
合 計	84,115	合 計	84,115

#### 財産目録(平成30年6月30日現在)

(一般勘定)		郵便局 振込口座	76,956 円
		〃 一般口座	36,807 円
合 計			113,763 円
(基金勘定)		郵便局 基金口座	84,115 円
合 計			84,115 円
総 合 計			197,878 円

左記のとおり報告致します。  
 平成30年7月22日  
 東京庄原格致会  
 会 長 積山弘佳  
 監 事 遠藤靖夫  
 監 事 塚原通彦  
 事務局長(会計) 武広 巖

### 東京庄原格致会役員名簿(平成二十九年十月二十二日)

- |   |  |  |
|---|--|--|
| 顧問<br>酒井 久幸(昭和二十五年卒)<br>室伏 孝一(昭和二十五年卒)<br>兼利 卓蔵(昭和二十八年卒)<br>明賀 馨(昭和三十年卒)<br>渡利 治博(昭和三十三年卒)<br>飛谷 安宣(昭和三十三年卒)<br>森沢 進(昭和三十三年卒)<br>合田 良三(昭和三十三年卒)<br>生田八洲紘(昭和三十三年卒)<br>積山 弘佳(昭和三十五年卒)<br>副 〃 迫田 芳徳(昭和三十四年卒) | 幹事長<br>八谷 英樹(昭和三十五年卒)<br>福場美知留(昭和四十五年卒)<br>副 〃 花田 和教(昭和四〇年卒)<br>石井美佐子(昭和四八年卒)<br>事務局長 武広 巖(昭和四八年卒)<br>副 〃 西川 進(昭和四八年卒)<br>幹事 大岩 征子(昭和三十七年卒)<br>渡邊 千草(昭和三十八年卒)<br>山城 建治(昭和三十九年卒)<br>助政 千尋(昭和四〇年卒) | 若山 博文(昭和四一年卒)<br>新宅 二三(昭和四二年卒)<br>藤原 剛(昭和四三年卒)<br>奥重 彦彦(昭和四七年卒)<br>吉田 玲児(昭和四七年卒)<br>田原 英樹(昭和四八年卒)<br>矢吹 文伸(昭和五八年卒)<br>塚原 通彦(昭和三十八年卒) |
|---|--|--|

### 編 集 後 記

7月、広島は大規模な水害に襲われました。芸備線の橋梁も流されました。まだまだ復旧には時間がかかりそうです。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

第26号東京庄原格致会会報の制作にあたり、お忙しい中、出稿をお願いし快く引き受けていただいた方々や、編集・発行に際してご尽力いただいた関係者の皆様には大変感謝致しております。

積山会長から、「26年前に先輩の皆さんがいろいろと議論され苦労されて産声を上げた会報」と聞いており、今回も継続できて安堵しております。

総会、懇親会、母校の現状、昨年の創立百二十周年記念事業、郷土だより、同好会だよりを読んで頂き、会の活動や高校生活、故郷を思い出していただく為に編集させて頂きました。本来でしたら写真もカラー印刷したいのですが、費用の問題がありますので現状で発行させて頂く事に成りました。

ぜひ、会報を読んでいただき、多くの皆様のご意見やご感想を頂き、より素晴らしい会報にしたいと関係者一同考えておりますので、宜しくお願ひ申し上げます。

(武広 巖)

### ホームページ活用のお願ひ

<http://www.t-shobara-kakuchi.com>  
 ホームページをより充実したものにするため、皆様からの沢山の情報・投稿をお待ちしています。

### 年会費の納入のお願ひ!

「年会費」は、東京庄原格致会の会報発行等の運営費を賄うための最も重要な財源です。  
 御一人 2千円をお願いしております。  
 お送りいたします振替用紙で入金いただけますよう、よろしくお願ひします。

ご寄付をありがとうございました。  
 この一年間に次の方々からご寄付などをいただきました、心よりお礼を申し上げます。

- 山田 健太郎様 (二三年卒)
- 三浦 重造様 (二六年卒)
- 八谷 英樹様 (三五年卒)
- 八谷 隆允様 (三七年卒)
- 守長 和子様 (四一年卒)

### ご逝去のお知らせ

平成二九年度総会でお知らせした後、事務局で把握しておりました逝去された会員の方です。

保田 治義様(二六年卒)  
 平成二九年一〇月ご逝去

謹んでお悔やみを申し上げます。